

昭和30年代・濃尾平野と周辺の中世城館

服部, 英雄

九州大学大学院比較社会文化研究院 : 教授 : 日本史

<https://doi.org/10.15017/17119>

出版情報 : 比較社会文化. 16, pp.121-264, 2010-03-20. Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



写真番号 (41) 小林城址 (中区南大津通4の21 清浄寺)



写真番号 (42) 古渡城址 (中区下茶屋町東本願寺別院境内)



府志：在古渡村、土人曰織田備後守居之 東西七十八間
南北五十六間、其地爲陸田、後入東掛所界内。

写真番号 (43) 御器所西城址 (名古屋市昭和区御器所町 旧字北市場)



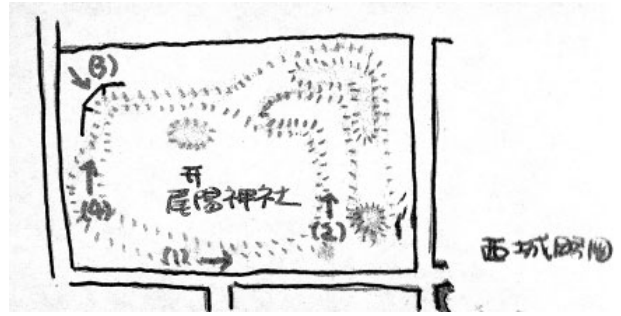
(1)



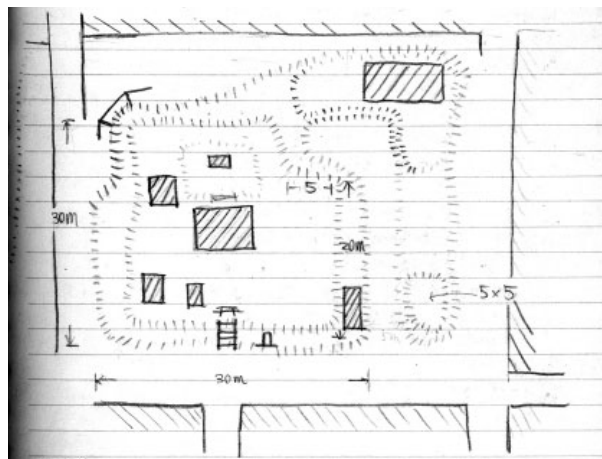
(2)



(3)



北方・八幡山古墳をのぞむ (4)



写真番号 (45) 中根北〔牛山〕城址 (瑞穂区日向町3丁目)



(メモ帳から)

●中根南城址

この地だけ菱池という地名残る。周囲はみな丸根町だから丸根城という人もいる。城跡は小丘で松が多い。むかし社のそばに大きな黒松があったが、昭和33年に枯死した。松の切り株が多い。むかしは文化財に指定されていた。眺望は西八幡と並んできわめてよい。天白川付近の田園風景は散策地として絶好。菱池城は中根三城の中でもっとも残りがよく、貴重だけれど、観音寺の方がいわれるように皆である。

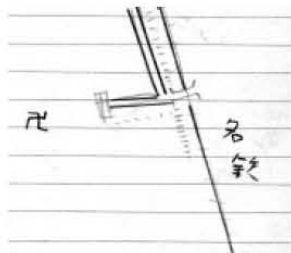
●中根北城址

弥富小学校の土地は高起の地で弥富丘陵の南西隅になる。小学校は拡充していて、郡誌の規模からいうと、昔からの校地である西側が該当するか。地形からいうと小学校の北がもっとも高くなっていて、神社もあったというから、ここを考えるべき。このことを知っている古老はいまはいない。宅地化が進行中。字牛山が現日向町に該当する。

●中根中城(丸根城)城址

行信寺の西、土地やや高く、むかしの城址の山の名残り、崩しきれなかった部分、いまはすべて宅地化。むかしの面影はない。大通りより見れば、それでも山のあとを偲ぶことができる。

写真番号 (46) 山崎城址 (南区山崎水車町2-7 安泰寺)



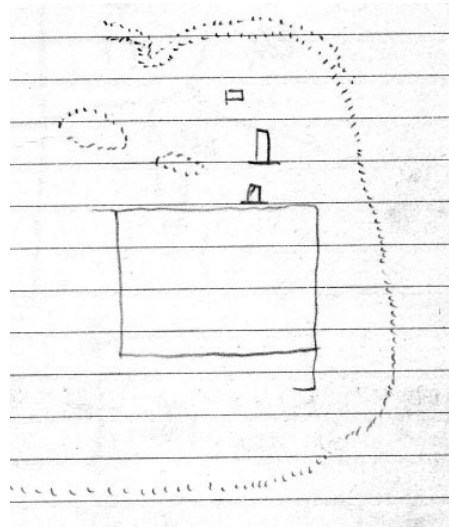
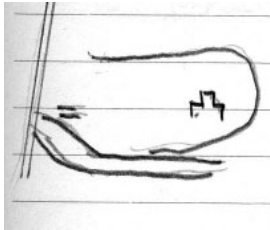
写真番号 (47) 山崎砦址 (南区岩戸町1丁目)



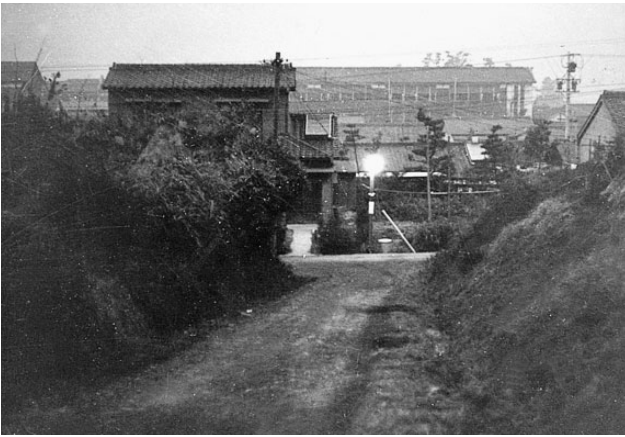
万葉集に詠まれた景勝地「年魚市瀧」の碑が建てられている。



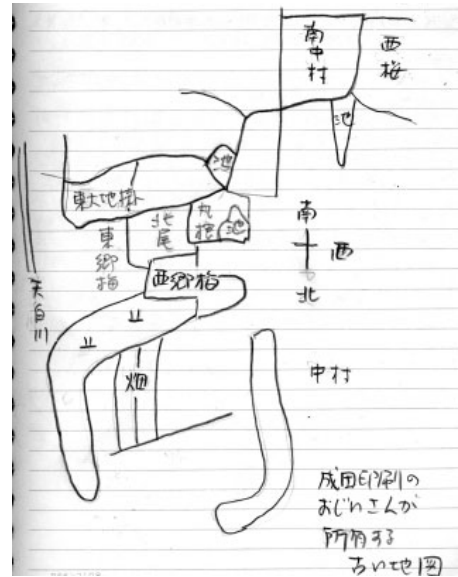
星崎方面を見る
(かつては年魚市瀧、即ち愛知瀧と呼ばれる干瀧であった)



写真番号 (48) 桜・東郷梅城址 (南区桜小学校わずか南)



大地掛より北方城址方面



●桜村城 (メモ帳から)

千竈村のうち三カ所

1 桜中村城 2 桜大地掛城 3 桜丸根城

中村は小桜歯医者あたりに、楠はなかった。2丸根は信号の80m西。花村美容院あたり。池が濠。池の西は藪。3 東郷梅桜小学校のわずか南

写真番号 (49) 戸部〔松本〕城址 (戸部城址碑:南区戸部町3-24 城址:この地より坂下、城下町のあたり)

